

第4期中期目標／中期計画／令和4年度(2022年度)実績報告

令和4年度 法人本部 年度計画	令和4年度 年度計画 (高専名： 一関工業高等専門学校)	進捗 ※新型コロナに關係するものは赤字	達成状況	課題 ※新型コロナに關係するものは赤字
			該当なし	
			該当なし	
			該当なし	
1. 教育に関する事項				
(1)入学者の確保 ①-1 入学者を確保し、入学希望者を対象としたホームページの充実や、全日本中学校長会、地域における中学校長会等への広報活動を行い、国立高等専門学校の特色と魅力を発信する。 また、入学希望者や保護者を対象とした国立高等専門学校が主催する合同説明会を開催することにより、組織的、体系的な広報活動を行い入学者の確保に取り組む。 さらに、高専活動紹介動画等を通じて、一般社団法人全国高等専門学校連合会等の関係団体と連携の上、様々な広報活動を行う。	1)本校のホームページにて、中学生向けに情報発信する。 2)YouTube等のSNSを活用し、コンテンツ作成は在校生と交換生・保護者向けにアピールする。	1)、2)本校のホームページにて中学生向けに積極的に情報発信しており、オープンキャンパスや学内行事、コンテスト参加等の高専生の活躍について情報提供「アピール」を行った。また、許年度からYouTubeに動画を投稿し、今年度分の更新だけでなく、学生によるコンテンツも投稿し、中学生・保護者向けにアピールした。	◎ 既に達成している	情報につながる広報活動のさらなる充実が必要(出前講座・公開講座の実施等)
①-2 各国立高等専門学校は、入学者説明会、体験入学、オープンキャンパス、学校説明会等(女子中学生を含む)の機会を有効に活用し、入学者確保のための国立高等専門学校の特色と魅力を発信する。	1)中学校が主催する進学説明会に参加し、中学生とその保護者に対し、高専の長所をアピールし、情報提供を行う。 2)オープンキャンパスにおいて、女子を対象とした「中学生・保護者向け」の進路相談コーナーを充実させる。 3)オープンキャンパス、公開講座等を実施し、各系の特色を紹介する。	1)中学校が主催する進学説明会・学校説明会を合わせて42会場に教員を派遣し、中学生とその保護者に対し、高専の長所をアピールし、情報提供した。 2)新型コロナ感染拡大により、当初8～9月ごろに予定していた学外会場での学校説明会については開催を中止した。 3)新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら8月末にオンラインオープンキャンパス、10月以降に公開講座・オープンキャンパス(中学生説明会)、学校全体の説明や各系長の説明を行った。	◎ 既に達成している	
②-1 女子中学生向け広報資料を活用した広報活動や、オープンキャンパスの女子学生を対象としたブースにより、女子学生の関心や期待を高め、女子学生が入学希望者となる機会を有効に活用する。	1)中学校が主催する進学説明会にて、国立高専機構が作成した女子中学生向け広報資料を活用する。 2)オープンキャンパスにおいて、女子を対象とした「中学生・保護者向け」の進路相談コーナーを充実させる。 3)女子を主たる対象としたサイエンスカフェを実施し、女性研究者の認知拡大を目指す。	1)中学校が主催する進学説明会にて、国立高専機構が作成した女子中学生向け広報資料を送付した。 2)8月末のオンラインオープンキャンパスにおいて、女子中学生を対象とした進路相談コーナーを実施した。 3)女子学生向けイベント「女子学生と女子学生」を開催し、女子学生と女子学生との交流を図った。	◎ 既に達成している	
②-2 新卒生の確保に向けて、以下の取組を実施する。 ・海外協定の日本企業等への広報活動を実施する。 ・ホームページの英語版コンテンツの充実や説明会等の機会を通じ、高等専門学校教育の特色や魅力について情報発信を強化する。	1)学校HPの英語版を充実させる。 2)地域企業において英文を併読した。	1)、2)学校HPの英語版を充実させたほか、学校要約において英文を併読した。	◎ 既に達成している	
③ 国立高等専門学校教育にふさわしい豊かな資質、意欲と能力を持った多様な入学者を確保する。また、各系長(専攻)は、入学希望者を対象とした個別指導プログラムを実施する。 また、各系長の確保を促進するため、居住地の近い高専等へ参加可能なよう優遇措置を実施する。 さらに、Web出題について、各系3年度一貫した個別指導プログラムを実施し、結果を踏まえ、各系4年度において、各系5年度一貫した個別指導プログラムの導入を進める。 さらに、奨学金の活用を促進し、高専専門学校教育に資する教員を確保する。	1)入学動機アンケートの分析や入学後の進路の進捗調査等から入学者の選抜方法の在り方を検討し、高専教育にふさわしい豊かな資質、意欲と能力を持った入学者の確保を目指す。	1)入学動機アンケートの分析および入学後の進路の分析を行った。	◎ 既に達成している	
④ 国立高等専門学校教育にふさわしい豊かな資質、意欲と能力を持った多様な入学者を確保する。また、各系長(専攻)は、入学希望者を対象とした個別指導プログラムを実施する。 また、各系長の確保を促進するため、居住地の近い高専等へ参加可能なよう優遇措置を実施する。 さらに、Web出題について、各系3年度一貫した個別指導プログラムを実施し、結果を踏まえ、各系4年度において、各系5年度一貫した個別指導プログラムの導入を進める。 さらに、奨学金の活用を促進し、高専専門学校教育に資する教員を確保する。	1)令和4年度に専攻科改組を実施した。学生選考には新しい選考を実施している。 2)専攻科第1学年のインターンシップを実施する。 3)地域企業との共同研究を推進する。	1)令和4年度に専攻科改組を実施し、第1学年は新カリキュラム、第2学年は旧カリキュラムで教育を実施した。 2)地域企業との共同研究を、今年度、新規7件、継続3件について実施した。	◎ 既に達成している	
⑤ 海外協定校との研究活動を通じて、インターンシップの単位を認定する。 また、海外協定校との交流活動を通じて、派遣プログラム(海外インターンシップ)を企画する。	1)海外協定校との研究活動を通じて、インターンシップの単位を認定する。 2)海外協定校との交流活動を通じて、派遣プログラム(海外インターンシップ)を企画する。	1)、2)海外協定校の春日工業大学とのインターンシップを企画し、9月に6名の学生の派遣を行った。報告書や報告会の内容に基づいて、単位の認定を行った。	◎ 既に達成している	
⑥ 学生の英語力、国際コミュニケーション力の向上や海外に積極的に飛び出すマインドを育成する取組を実施する国立高等専門学校への重点的な支援を行う。	1)英語でのコミュニケーション力向上や海外に積極的に飛び出すマインドを育成する取組を実施する。 2)海外協定校との交流活動を通じて、派遣プログラム(海外インターンシップ)を企画する。	1)2週間の国際交流プログラムにおいて、日本人学生と留学生とが交流を行った。 2)海外協定校の春日工業大学とのオンライン交流を行った。	◎ 既に達成している	
⑦ 公立高等専門学校と連携し、学生の意向に沿った国立高等専門学校のイメージの向上に資する「全日本高等専門学校長会」や「全日本高等専門学校長会」等の全国的なネットワークの構築を目指す。	1)コロナ禍の状況を考慮し、最大のコロナ感染予防対策を講じた。以下、大会が実施できようとした(詳細は「詳細」参照)。 2)コロナ禍の状況下であったが、3年ぶりに遠征日程にて東北高専体育大会を実施することができた。本校が参加し、結果は、準優勝であった。 3)技術コンテスト支援部会については、業務員軽減の観点から学内業務が必要な場合に会場実施の計画を変更した。 4)全日本高等専門学校長会(全高専)に本校から予定したチームが出場した。課題別において「チームが本選」出場に貢献した。高専体育大会(東北大会)にチームが参加し、一関高専チームが優勝、全高専大会に出場した。「全高専大会」では、団体で、バドミントン、サッカー、卓球が出場した。高専大会、水泳競技で2位入賞を果たした。高専DON2022に本校チームが出場し全高専優勝した。 5)「未来創造チャレンジ」という支援制度で1次8件、2次16件の採択を行い、本校チーム等8組に財政的支援を行った。 6)高専DON2022の企画開催、「未来創造チャレンジ」の運動企画、フィナーズ「高専ロボット」等の取り組みが地元新聞でTVで取り上げられた。	◎ 既に達成している		
⑧ 学生へのボランティア活動への参加の奨励等に関する取組を行う。また、様々なボランティア活動を行う学生及び学内団体の影響、学生評価への反映などによりボランティア活動の参加を促進する。	1)学生へのボランティア活動への参加の奨励等に関する取組を行う。 2)学生が主体となって社会貢献活動を実施し、全学生と教職員による清掃活動を実施する。勤労生産的体験活動の機会を学生に与える。 3)上記活動を積極的に取り入れるよう奨励を促すため、学生会との連携を密にし、学生会と教員の相互協力体制を確立する。	1)学生へのボランティア活動への参加の奨励等に関する取組を行った。 2)学生が主体となって社会貢献活動を実施し、10月に実施した。 3)上記活動を積極的に取り入れるよう奨励を促すため、学生会との連携を密にし、学生会と教員の相互協力体制を確立した。	◎ 既に達成している	
⑨ 「1+2+3」型「JAPAN」プログラムをはじめとする外部の各種奨学金制度の活用を促進する。 また、学生が積極的に活用できるよう促すことで、学生の国際的な知識や海外留学等の機会を拡大する。	1)専門科目担当教員の公募において、応募資格の一つとして、博士の学位を有する者を認めることと原則とするよう、各国立高等専門学校に通知する。 2)専門科目担当教員の公募において、応募資格の一つとして、博士の学位を有する者を認めた。	1)専門科目担当教員の公募において、応募資格の一つとして、博士の学位を有する者を認めた。	◎ 既に達成している	
⑩ クロスポイントメント制度の実施を推進する。	1)非常勤講師の採用において、クロスポイントメント制度の導入が可能かどうかを検討する。	1)非常勤講師の採用において、クロスポイントメント制度の導入が可能かどうかを検討した。しかし、実施できはならなかった。	◎ 既に達成している	
⑪ ソフトウェアに応じた柔軟な活動時間や出張支援プログラム等の取組を実施する。 また、女性研究者支援プログラム等の実施により女性の働きやすさの向上を図る。	1)情報機器の連携等により、女性研究者の研究活動を支援して、令和3年度で終了したダイバーシティに引き続き、多様な働きやすさの向上に取り組む。さらに男女共同参画に関する外部調査を実施し、令和4年度の実績を踏まえ、令和5年度の実績を踏まえ、令和6年度の実績を踏まえ、令和7年度の実績を踏まえ、令和8年度の実績を踏まえ、令和9年度の実績を踏まえ、令和10年度の実績を踏まえ、令和11年度の実績を踏まえ、令和12年度の実績を踏まえ、令和13年度の実績を踏まえ、令和14年度の実績を踏まえ、令和15年度の実績を踏まえ、令和16年度の実績を踏まえ、令和17年度の実績を踏まえ、令和18年度の実績を踏まえ、令和19年度の実績を踏まえ、令和20年度の実績を踏まえ、令和21年度の実績を踏まえ、令和22年度の実績を踏まえ、令和23年度の実績を踏まえ、令和24年度の実績を踏まえ、令和25年度の実績を踏まえ、令和26年度の実績を踏まえ、令和27年度の実績を踏まえ、令和28年度の実績を踏まえ、令和29年度の実績を踏まえ、令和30年度の実績を踏まえ、令和31年度の実績を踏まえ、令和32年度の実績を踏まえ、令和33年度の実績を踏まえ、令和34年度の実績を踏まえ、令和35年度の実績を踏まえ、令和36年度の実績を踏まえ、令和37年度の実績を踏まえ、令和38年度の実績を踏まえ、令和39年度の実績を踏まえ、令和40年度の実績を踏まえ、令和41年度の実績を踏まえ、令和42年度の実績を踏まえ、令和43年度の実績を踏まえ、令和44年度の実績を踏まえ、令和45年度の実績を踏まえ、令和46年度の実績を踏まえ、令和47年度の実績を踏まえ、令和48年度の実績を踏まえ、令和49年度の実績を踏まえ、令和50年度の実績を踏まえ、令和51年度の実績を踏まえ、令和52年度の実績を踏まえ、令和53年度の実績を踏まえ、令和54年度の実績を踏まえ、令和55年度の実績を踏まえ、令和56年度の実績を踏まえ、令和57年度の実績を踏まえ、令和58年度の実績を踏まえ、令和59年度の実績を踏まえ、令和60年度の実績を踏まえ、令和61年度の実績を踏まえ、令和62年度の実績を踏まえ、令和63年度の実績を踏まえ、令和64年度の実績を踏まえ、令和65年度の実績を踏まえ、令和66年度の実績を踏まえ、令和67年度の実績を踏まえ、令和68年度の実績を踏まえ、令和69年度の実績を踏まえ、令和70年度の実績を踏まえ、令和71年度の実績を踏まえ、令和72年度の実績を踏まえ、令和73年度の実績を踏まえ、令和74年度の実績を踏まえ、令和75年度の実績を踏まえ、令和76年度の実績を踏まえ、令和77年度の実績を踏まえ、令和78年度の実績を踏まえ、令和79年度の実績を踏まえ、令和80年度の実績を踏まえ、令和81年度の実績を踏まえ、令和82年度の実績を踏まえ、令和83年度の実績を踏まえ、令和84年度の実績を踏まえ、令和85年度の実績を踏まえ、令和86年度の実績を踏まえ、令和87年度の実績を踏まえ、令和88年度の実績を踏まえ、令和89年度の実績を踏まえ、令和90年度の実績を踏まえ、令和91年度の実績を踏まえ、令和92年度の実績を踏まえ、令和93年度の実績を踏まえ、令和94年度の実績を踏まえ、令和95年度の実績を踏まえ、令和96年度の実績を踏まえ、令和97年度の実績を踏まえ、令和98年度の実績を踏まえ、令和99年度の実績を踏まえ、令和100年度の実績を踏まえ、令和101年度の実績を踏まえ、令和102年度の実績を踏まえ、令和103年度の実績を踏まえ、令和104年度の実績を踏まえ、令和105年度の実績を踏まえ、令和106年度の実績を踏まえ、令和107年度の実績を踏まえ、令和108年度の実績を踏まえ、令和109年度の実績を踏まえ、令和110年度の実績を踏まえ、令和111年度の実績を踏まえ、令和112年度の実績を踏まえ、令和113年度の実績を踏まえ、令和114年度の実績を踏まえ、令和115年度の実績を踏まえ、令和116年度の実績を踏まえ、令和117年度の実績を踏まえ、令和118年度の実績を踏まえ、令和119年度の実績を踏まえ、令和120年度の実績を踏まえ、令和121年度の実績を踏まえ、令和122年度の実績を踏まえ、令和123年度の実績を踏まえ、令和124年度の実績を踏まえ、令和125年度の実績を踏まえ、令和126年度の実績を踏まえ、令和127年度の実績を踏まえ、令和128年度の実績を踏まえ、令和129年度の実績を踏まえ、令和130年度の実績を踏まえ、令和131年度の実績を踏まえ、令和132年度の実績を踏まえ、令和133年度の実績を踏まえ、令和134年度の実績を踏まえ、令和135年度の実績を踏まえ、令和136年度の実績を踏まえ、令和137年度の実績を踏まえ、令和138年度の実績を踏まえ、令和139年度の実績を踏まえ、令和140年度の実績を踏まえ、令和141年度の実績を踏まえ、令和142年度の実績を踏まえ、令和143年度の実績を踏まえ、令和144年度の実績を踏まえ、令和145年度の実績を踏まえ、令和146年度の実績を踏まえ、令和147年度の実績を踏まえ、令和148年度の実績を踏まえ、令和149年度の実績を踏まえ、令和150年度の実績を踏まえ、令和151年度の実績を踏まえ、令和152年度の実績を踏まえ、令和153年度の実績を踏まえ、令和154年度の実績を踏まえ、令和155年度の実績を踏まえ、令和156年度の実績を踏まえ、令和157年度の実績を踏まえ、令和158年度の実績を踏まえ、令和159年度の実績を踏まえ、令和160年度の実績を踏まえ、令和161年度の実績を踏まえ、令和162年度の実績を踏まえ、令和163年度の実績を踏まえ、令和164年度の実績を踏まえ、令和165年度の実績を踏まえ、令和166年度の実績を踏まえ、令和167年度の実績を踏まえ、令和168年度の実績を踏まえ、令和169年度の実績を踏まえ、令和170年度の実績を踏まえ、令和171年度の実績を踏まえ、令和172年度の実績を踏まえ、令和173年度の実績を踏まえ、令和174年度の実績を踏まえ、令和175年度の実績を踏まえ、令和176年度の実績を踏まえ、令和177年度の実績を踏まえ、令和178年度の実績を踏まえ、令和179年度の実績を踏まえ、令和180年度の実績を踏まえ、令和181年度の実績を踏まえ、令和182年度の実績を踏まえ、令和183年度の実績を踏まえ、令和184年度の実績を踏まえ、令和185年度の実績を踏まえ、令和186年度の実績を踏まえ、令和187年度の実績を踏まえ、令和188年度の実績を踏まえ、令和189年度の実績を踏まえ、令和190年度の実績を踏まえ、令和191年度の実績を踏まえ、令和192年度の実績を踏まえ、令和193年度の実績を踏まえ、令和194年度の実績を踏まえ、令和195年度の実績を踏まえ、令和196年度の実績を踏まえ、令和197年度の実績を踏まえ、令和198年度の実績を踏まえ、令和199年度の実績を踏まえ、令和200年度の実績を踏まえ、令和201年度の実績を踏まえ、令和202年度の実績を踏まえ、令和203年度の実績を踏まえ、令和204年度の実績を踏まえ、令和205年度の実績を踏まえ、令和206年度の実績を踏まえ、令和207年度の実績を踏まえ、令和208年度の実績を踏まえ、令和209年度の実績を踏まえ、令和210年度の実績を踏まえ、令和211年度の実績を踏まえ、令和212年度の実績を踏まえ、令和213年度の実績を踏まえ、令和214年度の実績を踏まえ、令和215年度の実績を踏まえ、令和216年度の実績を踏まえ、令和217年度の実績を踏まえ、令和218年度の実績を踏まえ、令和219年度の実績を踏まえ、令和220年度の実績を踏まえ、令和221年度の実績を踏まえ、令和222年度の実績を踏まえ、令和223年度の実績を踏まえ、令和224年度の実績を踏まえ、令和225年度の実績を踏まえ、令和226年度の実績を踏まえ、令和227年度の実績を踏まえ、令和228年度の実績を踏まえ、令和229年度の実績を踏まえ、令和230年度の実績を踏まえ、令和231年度の実績を踏まえ、令和232年度の実績を踏まえ、令和233年度の実績を踏まえ、令和234年度の実績を踏まえ、令和235年度の実績を踏まえ、令和236年度の実績を踏まえ、令和237年度の実績を踏まえ、令和238年度の実績を踏まえ、令和239年度の実績を踏まえ、令和240年度の実績を踏まえ、令和241年度の実績を踏まえ、令和242年度の実績を踏まえ、令和243年度の実績を踏まえ、令和244年度の実績を踏まえ、令和245年度の実績を踏まえ、令和246年度の実績を踏まえ、令和247年度の実績を踏まえ、令和248年度の実績を踏まえ、令和249年度の実績を踏まえ、令和250年度の実績を踏まえ、令和251年度の実績を踏まえ、令和252年度の実績を踏まえ、令和253年度の実績を踏まえ、令和254年度の実績を踏まえ、令和255年度の実績を踏まえ、令和256年度の実績を踏まえ、令和257年度の実績を踏まえ、令和258年度の実績を踏まえ、令和259年度の実績を踏まえ、令和260年度の実績を踏まえ、令和261年度の実績を踏まえ、令和262年度の実績を踏まえ、令和263年度の実績を踏まえ、令和264年度の実績を踏まえ、令和265年度の実績を踏まえ、令和266年度の実績を踏まえ、令和267年度の実績を踏まえ、令和268年度の実績を踏まえ、令和269年度の実績を踏まえ、令和270年度の実績を踏まえ、令和271年度の実績を踏まえ、令和272年度の実績を踏まえ、令和273年度の実績を踏まえ、令和274年度の実績を踏まえ、令和275年度の実績を踏まえ、令和276年度の実績を踏まえ、令和277年度の実績を踏まえ、令和278年度の実績を踏まえ、令和279年度の実績を踏まえ、令和280年度の実績を踏まえ、令和281年度の実績を踏まえ、令和282年度の実績を踏まえ、令和283年度の実績を踏まえ、令和284年度の実績を踏まえ、令和285年度の実績を踏まえ、令和286年度の実績を踏まえ、令和287年度の実績を踏まえ、令和288年度の実績を踏まえ、令和289年度の実績を踏まえ、令和290年度の実績を踏まえ、令和291年度の実績を踏まえ、令和292年度の実績を踏まえ、令和293年度の実績を踏まえ、令和294年度の実績を踏まえ、令和295年度の実績を踏まえ、令和296年度の実績を踏まえ、令和297年度の実績を踏まえ、令和298年度の実績を踏まえ、令和299年度の実績を踏まえ、令和300年度の実績を踏まえ、令和301年度の実績を踏まえ、令和302年度の実績を踏まえ、令和303年度の実績を踏まえ、令和304年度の実績を踏まえ、令和305年度の実績を踏まえ、令和306年度の実績を踏まえ、令和307年度の実績を踏まえ、令和308年度の実績を踏まえ、令和309年度の実績を踏まえ、令和310年度の実績を踏まえ、令和311年度の実績を踏まえ、令和312年度の実績を踏まえ、令和313年度の実績を踏まえ、令和314年度の実績を踏まえ、令和315年度の実績を踏まえ、令和316年度の実績を踏まえ、令和317年度の実績を踏まえ、令和318年度の実績を踏まえ、令和319年度の実績を踏まえ、令和320年度の実績を踏まえ、令和321年度の実績を踏まえ、令和322年度の実績を踏まえ、令和323年度の実績を踏まえ、令和324年度の実績を踏まえ、令和325年度の実績を踏まえ、令和326年度の実績を踏まえ、令和327年度の実績を踏まえ、令和328年度の実績を踏まえ、令和329年度の実績を踏まえ、令和330年度の実績を踏まえ、令和331年度の実績を踏まえ、令和332年度の実績を踏まえ、令和333年度の実績を踏まえ、令和334年度の実績を踏まえ、令和335年度の実績を踏まえ、令和336年度の実績を踏まえ、令和337年度の実績を踏まえ、令和338年度の実績を踏まえ、令和339年度の実績を踏まえ、令和340年度の実績を踏まえ、令和341年度の実績を踏まえ、令和342年度の実績を踏まえ、令和343年度の実績を踏まえ、令和344年度の実績を踏まえ、令和345年度の実績を踏まえ、令和346年度の実績を踏まえ、令和347年度の実績を踏まえ、令和348年度の実績を踏まえ、令和349年度の実績を踏まえ、令和350年度の実績を踏まえ、令和351年度の実績を踏まえ、令和352年度の実績を踏まえ、令和353年度の実績を踏まえ、令和354年度の実績を踏まえ、令和355年度の実績を踏まえ、令和356年度の実績を踏まえ、令和357年度の実績を踏まえ、令和358年度の実績を踏まえ、令和359年度の実績を踏まえ、令和360年度の実績を踏まえ、令和361年度の実績を踏まえ、令和362年度の実績を踏まえ、令和363年度の実績を踏まえ、令和364年度の実績を踏まえ、令和365年度の実績を踏まえ、令和366年度の実績を踏まえ、令和367年度の実績を踏まえ、令和368年度の実績を踏まえ、令和369年度の実績を踏まえ、令和370年度の実績を踏まえ、令和371年度の実績を踏まえ、令和372年度の実績を踏まえ、令和373年度の実績を踏まえ、令和374年度の実績を踏まえ、令和375年度の実績を踏まえ、令和376年度の実績を踏まえ、令和377年度の実績を踏まえ、令和378年度の実績を踏まえ、令和379年度の実績を踏まえ、令和380年度の実績を踏まえ、令和381年度の実績を踏まえ、令和382年度の実績を踏まえ、令和383年度の実績を踏まえ、令和384年度の実績を踏まえ、令和385年度の実績を踏まえ、令和386年度の実績を踏まえ、令和387年度の実績を踏まえ、令和388年度の実績を踏まえ、令和389年度の実績を踏まえ、令和390年度の実績を踏まえ、令和391年度の実績を踏まえ、令和392年度の実績を踏まえ、令和393年度の実績を踏まえ、令和394年度の実績を踏まえ、令和395年度の実績を踏まえ、令和396年度の実績を踏まえ、令和397年度の実績を踏まえ、令和398年度の実績を踏まえ、令和399年度の実績を踏まえ、令和400年度の実績を踏まえ、令和401年度の実績を踏まえ、令和402年度の実績を踏まえ、令和403年度の実績を踏まえ、令和404年度の実績を踏まえ、令和405年度の実績を踏まえ、令和406年度の実績を踏まえ、令和407年度の実績を踏まえ、令和408年度の実績を踏まえ、令和409年度の実績を踏まえ、令和410年度の実績を踏まえ、令和411年度の実績を踏まえ、令和412年度の実績を踏まえ、令和413年度の実績を踏まえ、令和414年度の実績を踏まえ、令和415年度の実績を踏まえ、令和416年度の実績を踏まえ、令和417年度の実績を踏まえ、令和418年度の実績を踏まえ、令和419年度の実績を踏まえ、令和420年度の実績を踏まえ、令和421年度の実績を踏まえ、令和422年度の実績を踏まえ、令和423年度の実績を踏まえ、令和424年度の実績を踏まえ、令和425年度の実績を踏まえ、令和426年度の実績を踏まえ、令和427年度の実績を踏まえ、令和428年度の実績を踏まえ、令和429年度の実績を踏まえ、令和430年度の実績を踏まえ、令和431年度の実績を踏まえ、令和432年度の実績を踏まえ、令和433年度の実績を踏まえ、令和434年度の実績を踏まえ、令和435年度の実績を踏まえ、令和436年度の実績を踏まえ、令和437年度の実績を踏まえ、令和438年度の実績を踏まえ、令和439年度の実績を踏まえ、令和440年度の実績を踏まえ、令和441年度の実績を踏まえ、令和442年度の実績を踏まえ、令和443年度の実績を踏まえ、令和444年度の実績を踏まえ、令和445年度の実績を踏まえ、令和446年度の実績を踏まえ、令和447年度の実績を踏まえ、令和448年度の実績を踏まえ、令和449年度の実績を踏まえ、令和450年度の実績を踏まえ、令和451年度の実績を踏まえ、令和452年度の実績を踏まえ、令和453年度の実績を踏まえ、令和454年度の実績を踏まえ、令和455年度の実績を踏まえ、令和456年度の実績を踏まえ、令和457年度の実績を踏まえ、令和458年度の実績を踏まえ、令和459年度の実績を踏まえ、令和460年度の実績を踏まえ、令和461年度の実績を踏まえ、令和462年度の実績を踏まえ、令和463年度の実績を踏まえ、令和464年度の実績を踏まえ、令和465年度の実績を踏まえ、令和466年度の実績を踏まえ、令和467年度の実績を踏まえ、令和468年度の実績を踏まえ、令和469年度の実績を踏まえ、令和470年度の実績を踏まえ、令和471年度の実績を踏まえ、令和472年度の実績を踏まえ、令和473年度の実績を踏まえ、令和474年度の実績を踏まえ、令和475年度の実績を踏まえ、令和476年度の実績を踏まえ、令和477年度の実績を踏まえ、令和478年度の実績を踏まえ、令和479年度の実績を踏まえ、令和480年度の実績を踏まえ、令和481年度の実績を踏まえ、令和482年度の実績を踏まえ、令和483年度の実績を踏まえ、令和484年度の実績を踏まえ、令和485年度の実績を踏まえ、令和486年度の実績を踏まえ、令和487年度の実績を踏まえ、令和488年度の実績を踏まえ、令和489年度の実績を踏まえ、令和490年度の実績を踏まえ、令和491年度の実績を踏まえ、令和492年度の実績を踏まえ、令和493年度の実績を踏まえ、令和494年度の実績を踏まえ、令和495年度の実績を踏まえ、令和496年度の実績を踏まえ、令和497年度の実績を踏まえ、令和498年度の実績を踏まえ、令和499年度の実績を踏まえ、令和500年度の実績を踏まえ、令和501年度の実績を踏まえ、令和502年度の実績を踏まえ、令和503年度の実績を踏まえ、令和504年度の実績を踏まえ、令和505年度の実績を踏まえ、令和506年度の実績を踏まえ、令和507年度の実績を踏まえ、令和508年度の実績を踏まえ、令和509年度の実績を踏まえ、令和510年度の実績を踏まえ、令和511年度の実績を踏まえ、令和512年度の実績を踏まえ、令和513年度の実績を踏まえ、令和514年度の実績を踏まえ、令和515年度の実績を踏まえ、令和516年度の実績を踏まえ、令和517年度の実績を踏まえ、令和518年度の実績を踏まえ、令和519年度の実績を踏まえ、令和520年度の実績を踏まえ、令和521年度の実績を踏まえ、令和522年度の実績を踏まえ、令和523年度の実績を踏まえ、令和524年度の実績を踏まえ、令和525年度の実績を踏まえ、令和526年度の実績を踏まえ、令和527年度の実績を踏まえ、令和528年度の実績を踏まえ、令和529年度の実績を踏まえ、令和530年度の実績を踏まえ、令和531年度の実績を踏まえ、令和532年度の実績を踏まえ、令和533年度の実績を踏まえ、令和534年度の実績を踏まえ、令和535年度の実績を踏まえ、令和536年度の実績を踏まえ、令和537年度の実績を踏まえ、令和538年度の実績を踏まえ、令和539年度の実績を踏まえ、令和540年度の実績を踏まえ、令和541年度の実績を踏まえ、令和542年度の実績を踏まえ、令和543年度の実績を踏まえ、令和544年度の実績を踏まえ、令和545年度の実績を踏まえ、令和546年度の実績を踏まえ、令和547年度の実績を踏まえ、令和548年度の実績を踏まえ、令和549年度の実績を踏まえ、令和550年度の実績を踏まえ、令和551年度の実績を踏まえ、令和552年度の実績を踏まえ、令和553年度の実績を踏まえ、令和554年度の実績を踏まえ、令和555年度の実績を踏まえ、令和556年度の実績を踏まえ、令和557年度の実績を踏まえ、令和558年度の実績を踏まえ、令和559年度の実績を踏まえ、令和560年度の実績を踏まえ、令和561年度の実績を踏まえ、令和562年度の実績を踏まえ、令和563年度の実績を踏まえ、令和564年度の実績を踏まえ、令和565年度の実績を踏まえ、令和566年度の実績を踏まえ、令和567年度の実績を踏まえ、令和568年度の実績を踏まえ、令和569年度の実績を踏まえ、令和570年度の実績を踏まえ、令和571年度の実績を踏まえ、令和572年度の実績を踏まえ、令和573年度の実績を踏まえ、令和574年度の実績を踏まえ、令和575年度の実績を踏まえ、令和576年度の実績を踏まえ、令和577年度の実績を踏まえ、令和578年度の実績を踏まえ、令和579年度の実績を踏まえ、令和580年度の実績を踏まえ、令和581年度の実績を踏まえ、令和582年度の実績を踏まえ、令和583年度の実績を踏まえ、令和584年度の実績を踏まえ、令和585年度の実績を踏まえ、令和586年度の実績を踏まえ、令和587年度の実績を踏まえ、令和588年度の実績を踏まえ、令和589年度の実績を踏まえ、令和590年度の実績を踏まえ、令和591年度の実績を踏まえ、令和592年度の実績を踏まえ、令和593年度の実績を踏まえ、令和594年度の実績を踏まえ、令和595年度の実績を踏まえ、令和596年度の実績を踏まえ、令和597年度の実績を踏まえ、令和598年度の実績を踏まえ、令和599年度の実績を踏まえ、令和600年度の実績を踏まえ、令和601年度の実績を踏まえ、令和602年度の実績を踏まえ、令和603年度の実績を踏まえ、令和604年度の実績を踏まえ、令和605年度の実績を踏まえ、令和606年度の実績を踏まえ、令和607年度の実績を踏まえ、令和608年度の実績を踏まえ、令和609年度の実績を踏まえ、令和610年度の実績を踏まえ、令和611年度の実績を踏まえ、令和612年度の実績を踏まえ、令和613年度の実績を踏まえ、令和614年度の実績を踏まえ、令和615年度の実績を踏まえ、令和616年度の実績を踏まえ、令和617年度の実績を踏まえ、令和618年度の実績を踏まえ、令和619年度の実績を踏まえ、令和620年度の実績を踏まえ、令和621年度の実績を踏まえ、令和622年度の実績を踏まえ、令和623年度の実績を踏まえ、令和624年度の実績を踏まえ、令和625年度の実績を踏まえ、令和626年度の実績を踏まえ、令和627年度の実績を踏まえ、令和628年度の実績を踏まえ、令和629年度の実績を踏まえ、令和630年度の実績を踏まえ、令和631年度の実績を踏まえ、令和632年度の実績を踏まえ、令和633年度の実績を踏まえ、令和634年度の実績を踏まえ、令和635年度の実績を踏まえ、令和636年度の実績を踏まえ、令和637年度の実績を踏まえ、令和638年度の実績を踏まえ、令和639年度の実績を踏まえ、令和640年度の実績を踏まえ、令和641年度の実績を踏まえ、令和642年度の実績を踏まえ、令和643年度の実績を踏まえ、令和644年度の実績を踏まえ、令和645年度の実績を踏まえ、令和646年度の実績を踏まえ、令和647年度の実績を踏まえ、令和648年度の実績を踏まえ、令和649年度の実績を踏まえ、令和650年度の実績を踏まえ、令和651年度の実績を踏まえ、令和652年度の実績を踏まえ、令和653年度の実績を踏まえ、令和654年度の実績を踏まえ、令和655年度の実績を踏まえ、令和656年度の実績を踏まえ、令和657年度の実績を踏まえ、令和658年度の実績を踏まえ、令和659年度の実績を踏まえ、令和660年度の実績を踏まえ、令和661年度の実績を踏まえ、令和662年度の実績を踏まえ、令和663年度の実績を踏まえ、令和664年度の実績を踏まえ、令和665年度の実績を踏まえ、令和666年度の実績を踏まえ、令和667年度の実績を踏まえ、令和668年度の実績を踏まえ、令和669年度の実績を踏まえ、令和670年度の実績を踏まえ、令和671年度の実績を踏まえ、令和672年度の実績を踏まえ、令和673年度の実績を踏まえ、令和674年度の実績を踏まえ、令和675年度の実績を踏まえ、令和676年度の実績を踏まえ、令和677年度の実績を踏まえ、令和678年度の実績を踏まえ、令和679年度の実績を踏まえ、令和680年度の実績を踏まえ、令和681年度の実績を踏まえ、令和682年度の実績を踏まえ、令和683年度の実績を踏まえ、令和684年度の実績を踏まえ、令和685年度の実績を踏まえ、令和686年度の実績を踏まえ、令和687年度の実績を踏まえ、令和688年度の実績を踏まえ、令和689年度の実績を踏まえ、令和690年度の実績を踏まえ、令和691年度の実績を踏まえ、令和692年度の実績を踏まえ、令和693年度の実績を踏まえ、令和694年度の実績を踏まえ、令和695年度の実績を踏まえ、令和696年度の実績を踏まえ、令和697年度の実績を踏まえ、令和698年度の実績を踏まえ、令和699年度の実績を踏まえ、令和700年度の実績を踏まえ、令和701年度の実績を踏まえ、令和702年度の実績を踏まえ、令和703年度の実績を踏まえ、令和704年度の実績を踏まえ、令和705年度の実績を踏まえ、令和706年度の実績を踏まえ、令和707年度の実績を踏まえ、令和708年度の実績を踏まえ、令和709年度の実績を踏まえ、令和710年度の実績を踏まえ、令和711年度の実績を踏まえ、令和712年度の実績を踏まえ、令和713年度の実績を踏まえ、令和714年度の実績を踏まえ、令和715年度の実績を踏まえ、令和716年度の実績を踏まえ、令和717年度の実績を踏まえ、令和718年度の実績を踏まえ、令和719年度の実績を踏まえ、令和720年度の実績を踏まえ、令和721年度の実績を踏まえ、令和722年度の実績を踏まえ、令和723年度の実績を踏まえ、令和724年度の実績を踏まえ、令和725年度の実績を踏まえ、令和726年度の実績を踏まえ、令和727年度の実績を踏まえ、令和728年度の実績を踏まえ、令和729年度の実績を踏まえ、令和730年度の実績を踏まえ、令和731年度の実績を踏まえ、令和732年度の実績を踏まえ、令和733年度の実績を踏まえ、令和734年度の実績を踏まえ、令和735年度の実績を踏まえ、令和736年度の実績を踏まえ、令和737年度の実績を踏まえ、令和738年度の実績を踏まえ、令和739年度の実績を踏まえ、令和740年度の実績を踏まえ、令和741年度の実績を踏まえ、令和742年度の実績を踏まえ、令和743年度の実績を踏まえ、令和744年度の実績を踏まえ、令和745年度の実績を踏まえ、令和746年度の実績を踏まえ、令和747年度の実績を踏まえ、令和7			

令和4年度 法人本部 年度計画	令和4年度 年度計画 (高専名：一関工業高等専門学校)	進捗 ※新型コロナウイルスに関係するものは赤字	達成状況	課題 ※新型コロナウイルスに関係するものは赤字
<p>2. 各国立高等専門学校の教育の質の向上に努めるため、自己点検・評価及び高等専門学校機関別認証評価を両向した取り組みとして、評価結果の優れた取組や課題・改善点については、各国立高等専門学校において共有・展開する。 また、モデルコアカリキュラムに基づき国立高等専門学校の本科における教育の質保証の枠組の導入を推進する。</p>	<p>1) 委員会(審)・資料(長等)の令和4年度自己点検評価報告書に基づき、点検評価委員会において検証と改善の進捗を実施する。 2) 令和4年度高等専門学校機関別認証評価の結果に基づき、改善点に向け各専科対応を行う。 3) 評価結果を「専科別評価」をはじめ本校取組メニューにおいて、本校の取組等に活用するための学外アンケートを実施する。 4) 評価結果に関する自己点検・評価を実施する。 5) 数値・データサイエンス/A教育プログラムの自己点検・評価を実施する。</p>	<p>1) 委員会(審)・資料(長等)の令和4年度自己点検評価報告書に基づき、点検評価委員会において検証と改善の進捗を行った。 2) 令和4年度高等専門学校機関別認証評価の結果に基づき、各専科対応を行った。 3) 評価結果を「専科別評価」をはじめ本校取組メニューにおいて、本校の取組等に活用するための学外アンケートを実施した。 4) 評価結果に関する自己点検・評価を実施した。 5) 数値・データサイエンス/A教育プログラムの自己点検・評価を2024年3月に実施した。</p>	◎: 既に達成している	
<p>3-1 各国立高等専門学校において、地域や産業界が直面する課題解決を目指す課題解決型学習(PBL: Project-Based Learning)の導入を推進する。 また、地域の自治体等と連携し、小中学生・高校生を対象とした情報プログラミング教育を含むSTEM教育の支援を行い、地域の理工系人材の早期発掘及び人材育成を推進するとともに、国立高等専門学校に引き継ぎ可能な取組を実施する。</p>	<p>1) 教員と企業とのチームティーチングによる課題解決型学習科目「実践演習1」の実施を図る。</p>	<p>1) 教員と企業とのチームティーチングによる課題解決型学習科目「実践演習1」を実施した。1クラス/企業技術者が入り、他の3クラスはTeams会議による同時配信にて実施した。</p>	◎: 既に達成している	
<p>3-2 企業と連携した教育コンテンツの開発を推進しつつ、インターンシップ等の共同教育を実施し、その取組事例を取りもつた。各国立高等専門学校に通知する。</p>	<p>1) 本科3～5年生、専攻科1年生を対象にインターンシップを実施する。</p>	<p>1) 本科3、専攻科1年生を対象としたインターンシップは必修科目であるが、新型コロナウイルスの影響状況を踏まえ学生の安全を確保するに配慮し積極的に対応して、今年度も適切に実施した。</p>	◎: 既に達成している	
<p>3-3 社会ニーズを把握し情報教育について、関係する外部機関と連携し教員の指導力向上を図るとともに、教育内容の高度化に向けた取組を進める。</p>	<p>1) 教員向けサイバーセキュリティ教育講座の実施を検討する。</p>	<p>1) 4月に全教職員を対象とした情報セキュリティ講習会を実施した。</p>	◎: 既に達成している	
<p>4. 高等専門学校教育の高度化に向けて、技術系大学等と定期的な連携・協議の場を設け、ピボット分野を両向した取組、教員の研修、国立高等専門学校及び技術系大学との共同研究等、企業・大学・企業との間で有機的な連携を推進する。</p>	<p>1) 共同・連携型技術系大学の共同研究に参加する。 2) 企業・産業界等との共同研究を実施する。 3) 産業界・産業界等との共同研究を実施する。 4) 産業界・産業界等との共同研究を実施する。 5) 産業界・産業界等との共同研究を実施する。</p>	<p>1) 共同・連携型技術系大学の共同研究等について情報、連携型技術系大学で開発された2022年度先進的技術系大学プログラム「協」へ参加した。 2) 共同・連携型技術系大学の共同研究7件(共同技術系4件、連携型技術系3件)について新規に契約した。 3) 11月2日大手大学において開催された、東北地区大学専攻科交流(弘前大学工学部専攻科、岩手大学工学部専攻科、秋田大学工学部専攻科、秋田大学工学部専攻科)に参加し、連携型技術系大学の共同研究等について情報共有を行った。 4) 11月2日大手大学において開催された、東北地区大学専攻科交流(弘前大学工学部専攻科、岩手大学工学部専攻科、秋田大学工学部専攻科、秋田大学工学部専攻科)に参加し、連携型技術系大学の共同研究等について情報共有を行った。 5) 2～3学期にhyper-QUを実施し、個々の学生の学生生活の質を調査し、改善を促した。また、担任、指導、指導等に関する調査を実施し、スクールワークの強化により、改善の取組等(情報系専攻科の対応の取組)などを実施した。 6) 外部講師を招き、教員・学生に対するメンタルヘルスに関する講演会を開催する。 7) 学生・産業界等の情報共有(チーム支援)を行う。 8) メンタルヘルスに関する取組の強化(メンタルヘルスに関する体制づくり)に努める。 9) 産業界・産業界等に関する内外の教職員研修を積極的に行う。 10) 保健管理センターより学外の企業等との連携を強化し、カンパニーの紹介等を実施する。 11) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 12) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 13) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 14) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 15) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。</p>	◎: 既に達成している	
<p>5) 学生支援・生活支援等 各国立高等専門学校の学生生活体制の充実のため、カウンセラー及びソーシャルワーカー等の専門職の活用を促進するとともに、各国立高等専門学校の学生生活体制の向上に、情報共有する学生の支援を強化する。外部機関との協力を得て、具体的事例等に基づき、実効性のある取組を実施する。</p>	<p>1) 保健管理マニュアルを改定し、充実を図り、担任(学年毎・全体)を定期的に関係し、教員間の情報共有を行う。 2) hyper-QUを実施し、個々の学生の学生生活の質を調査し、改善を促した。 3) 外部講師を招き、教員・学生に対するメンタルヘルスに関する講演会を開催する。 4) 産業界・産業界等に関する内外の教職員研修を積極的に行う。 5) 保健管理センターより学外の企業等との連携を強化し、カンパニーの紹介等を実施する。 6) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 7) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 8) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 9) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 10) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 11) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 12) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 13) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 14) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 15) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。</p>	<p>1) 保健管理マニュアルを改定し、充実を図り、担任(学年毎・全体)を定期的に関係し、教員間の情報共有を行った。 2) 1～3学期にhyper-QUを実施し、個々の学生の学生生活の質を調査し、改善を促した。また、担任、指導、指導等に関する調査を実施し、スクールワークの強化により、改善の取組等(情報系専攻科の対応の取組)などを実施した。 3) 外部講師を招き、教員・学生に対するメンタルヘルスに関する講演会を開催する。 4) 産業界・産業界等に関する内外の教職員研修を積極的に行う。 5) 保健管理センターより学外の企業等との連携を強化し、カンパニーの紹介等を実施した。 6) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 7) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 8) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 9) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 10) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 11) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 12) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 13) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 14) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。 15) 学校への訪問先を調査し、企業等との連携を強化し、いじめの防止に努める。</p>	◎: 既に達成している	
<p>6. 高等教育の修学支援制度などの各種学習制度に係る情報が学生に適切に行き渡るよう、法人本部など各国立高等専門学校に積極的な情報提供を行う。また、ホームページや刊物物などの活用可能な媒体を利用して、効果的な取組について、適切な情報提供し、情報の拡散を図るとともに、産業界など広く社会からの支援による原学制度の充実を図る。</p>	<p>1) 日本学生支援機構、高専機構及び産業界から通知された各種学習制度については、本校の取組ホームページ等に掲載し、学生に対して適切な情報提供を行い、積極的な活用を促す。</p>	<p>1) 日本学生支援機構、高専機構及び産業界から通知された各種学習制度については、本校の取組ホームページ等に掲載し、学生に対して適切な情報提供を行い、積極的な活用を促した。</p>	◎: 既に達成している	
<p>7. 各国立高等専門学校において、入学時から卒業まで継続的なキャリア教育を推進し、産業界・企業と連携を図るとともに、キャリア支援を担う窓口の活用を促進し、企業研修、就職・進学情報などの提供体制・相談方法を強化したキャリア支援の実施を図る。また、卒業後のキャリア支援体制を充実させるとともに、卒業後のキャリア支援体制の向上に、情報共有する学生の支援を強化する。外部機関との協力を得て、具体的事例等に基づき、実効性のある取組を実施する。</p>	<p>1) 本科第1～3年生の各学年において、学生に対するキャリア教育講演会、地域企業見学会等を実施する。 2) 就職試験対策講演会として、産業界の働き方・面接試験等に関する講演会を4回実施する。 3) 卒業生との交流を促進する。 4) 1期生・2期生・3期生・4期生・5期生・6期生・7期生・8期生・9期生・10期生・11期生・12期生・13期生・14期生・15期生・16期生・17期生・18期生・19期生・20期生・21期生・22期生・23期生・24期生・25期生・26期生・27期生・28期生・29期生・30期生・31期生・32期生・33期生・34期生・35期生・36期生・37期生・38期生・39期生・40期生・41期生・42期生・43期生・44期生・45期生・46期生・47期生・48期生・49期生・50期生・51期生・52期生・53期生・54期生・55期生・56期生・57期生・58期生・59期生・60期生・61期生・62期生・63期生・64期生・65期生・66期生・67期生・68期生・69期生・70期生・71期生・72期生・73期生・74期生・75期生・76期生・77期生・78期生・79期生・80期生・81期生・82期生・83期生・84期生・85期生・86期生・87期生・88期生・89期生・90期生・91期生・92期生・93期生・94期生・95期生・96期生・97期生・98期生・99期生・100期生・101期生・102期生・103期生・104期生・105期生・106期生・107期生・108期生・109期生・110期生・111期生・112期生・113期生・114期生・115期生・116期生・117期生・118期生・119期生・120期生・121期生・122期生・123期生・124期生・125期生・126期生・127期生・128期生・129期生・130期生・131期生・132期生・133期生・134期生・135期生・136期生・137期生・138期生・139期生・140期生・141期生・142期生・143期生・144期生・145期生・146期生・147期生・148期生・149期生・150期生・151期生・152期生・153期生・154期生・155期生・156期生・157期生・158期生・159期生・160期生・161期生・162期生・163期生・164期生・165期生・166期生・167期生・168期生・169期生・170期生・171期生・172期生・173期生・174期生・175期生・176期生・177期生・178期生・179期生・180期生・181期生・182期生・183期生・184期生・185期生・186期生・187期生・188期生・189期生・190期生・191期生・192期生・193期生・194期生・195期生・196期生・197期生・198期生・199期生・200期生・201期生・202期生・203期生・204期生・205期生・206期生・207期生・208期生・209期生・210期生・211期生・212期生・213期生・214期生・215期生・216期生・217期生・218期生・219期生・220期生・221期生・222期生・223期生・224期生・225期生・226期生・227期生・228期生・229期生・230期生・231期生・232期生・233期生・234期生・235期生・236期生・237期生・238期生・239期生・240期生・241期生・242期生・243期生・244期生・245期生・246期生・247期生・248期生・249期生・250期生・251期生・252期生・253期生・254期生・255期生・256期生・257期生・258期生・259期生・260期生・261期生・262期生・263期生・264期生・265期生・266期生・267期生・268期生・269期生・270期生・271期生・272期生・273期生・274期生・275期生・276期生・277期生・278期生・279期生・280期生・281期生・282期生・283期生・284期生・285期生・286期生・287期生・288期生・289期生・290期生・291期生・292期生・293期生・294期生・295期生・296期生・297期生・298期生・299期生・300期生・301期生・302期生・303期生・304期生・305期生・306期生・307期生・308期生・309期生・310期生・311期生・312期生・313期生・314期生・315期生・316期生・317期生・318期生・319期生・320期生・321期生・322期生・323期生・324期生・325期生・326期生・327期生・328期生・329期生・330期生・331期生・332期生・333期生・334期生・335期生・336期生・337期生・338期生・339期生・340期生・341期生・342期生・343期生・344期生・345期生・346期生・347期生・348期生・349期生・350期生・351期生・352期生・353期生・354期生・355期生・356期生・357期生・358期生・359期生・360期生・361期生・362期生・363期生・364期生・365期生・366期生・367期生・368期生・369期生・370期生・371期生・372期生・373期生・374期生・375期生・376期生・377期生・378期生・379期生・380期生・381期生・382期生・383期生・384期生・385期生・386期生・387期生・388期生・389期生・390期生・391期生・392期生・393期生・394期生・395期生・396期生・397期生・398期生・399期生・400期生・401期生・402期生・403期生・404期生・405期生・406期生・407期生・408期生・409期生・410期生・411期生・412期生・413期生・414期生・415期生・416期生・417期生・418期生・419期生・420期生・421期生・422期生・423期生・424期生・425期生・426期生・427期生・428期生・429期生・430期生・431期生・432期生・433期生・434期生・435期生・436期生・437期生・438期生・439期生・440期生・441期生・442期生・443期生・444期生・445期生・446期生・447期生・448期生・449期生・450期生・451期生・452期生・453期生・454期生・455期生・456期生・457期生・458期生・459期生・460期生・461期生・462期生・463期生・464期生・465期生・466期生・467期生・468期生・469期生・470期生・471期生・472期生・473期生・474期生・475期生・476期生・477期生・478期生・479期生・480期生・481期生・482期生・483期生・484期生・485期生・486期生・487期生・488期生・489期生・490期生・491期生・492期生・493期生・494期生・495期生・496期生・497期生・498期生・499期生・500期生・501期生・502期生・503期生・504期生・505期生・506期生・507期生・508期生・509期生・510期生・511期生・512期生・513期生・514期生・515期生・516期生・517期生・518期生・519期生・520期生・521期生・522期生・523期生・524期生・525期生・526期生・527期生・528期生・529期生・530期生・531期生・532期生・533期生・534期生・535期生・536期生・537期生・538期生・539期生・540期生・541期生・542期生・543期生・544期生・545期生・546期生・547期生・548期生・549期生・550期生・551期生・552期生・553期生・554期生・555期生・556期生・557期生・558期生・559期生・560期生・561期生・562期生・563期生・564期生・565期生・566期生・567期生・568期生・569期生・570期生・571期生・572期生・573期生・574期生・575期生・576期生・577期生・578期生・579期生・580期生・581期生・582期生・583期生・584期生・585期生・586期生・587期生・588期生・589期生・590期生・591期生・592期生・593期生・594期生・595期生・596期生・597期生・598期生・599期生・600期生・601期生・602期生・603期生・604期生・605期生・606期生・607期生・608期生・609期生・610期生・611期生・612期生・613期生・614期生・615期生・616期生・617期生・618期生・619期生・620期生・621期生・622期生・623期生・624期生・625期生・626期生・627期生・628期生・629期生・630期生・631期生・632期生・633期生・634期生・635期生・636期生・637期生・638期生・639期生・640期生・641期生・642期生・643期生・644期生・645期生・646期生・647期生・648期生・649期生・650期生・651期生・652期生・653期生・654期生・655期生・656期生・657期生・658期生・659期生・660期生・661期生・662期生・663期生・664期生・665期生・666期生・667期生・668期生・669期生・670期生・671期生・672期生・673期生・674期生・675期生・676期生・677期生・678期生・679期生・680期生・681期生・682期生・683期生・684期生・685期生・686期生・687期生・688期生・689期生・690期生・691期生・692期生・693期生・694期生・695期生・696期生・697期生・698期生・699期生・700期生・701期生・702期生・703期生・704期生・705期生・706期生・707期生・708期生・709期生・710期生・711期生・712期生・713期生・714期生・715期生・716期生・717期生・718期生・719期生・720期生・721期生・722期生・723期生・724期生・725期生・726期生・727期生・728期生・729期生・730期生・731期生・732期生・733期生・734期生・735期生・736期生・737期生・738期生・739期生・740期生・741期生・742期生・743期生・744期生・745期生・746期生・747期生・748期生・749期生・750期生・751期生・752期生・753期生・754期生・755期生・756期生・757期生・758期生・759期生・760期生・761期生・762期生・763期生・764期生・765期生・766期生・767期生・768期生・769期生・770期生・771期生・772期生・773期生・774期生・775期生・776期生・777期生・778期生・779期生・780期生・781期生・782期生・783期生・784期生・785期生・786期生・787期生・788期生・789期生・790期生・791期生・792期生・793期生・794期生・795期生・796期生・797期生・798期生・799期生・800期生・801期生・802期生・803期生・804期生・805期生・806期生・807期生・808期生・809期生・810期生・811期生・812期生・813期生・814期生・815期生・816期生・817期生・818期生・819期生・820期生・821期生・822期生・823期生・824期生・825期生・826期生・827期生・828期生・829期生・830期生・831期生・832期生・833期生・834期生・835期生・836期生・837期生・838期生・839期生・840期生・841期生・842期生・843期生・844期生・845期生・846期生・847期生・848期生・849期生・850期生・851期生・852期生・853期生・854期生・855期生・856期生・857期生・858期生・859期生・860期生・861期生・862期生・863期生・864期生・865期生・866期生・867期生・868期生・869期生・870期生・871期生・872期生・873期生・874期生・875期生・876期生・877期生・878期生・879期生・880期生・881期生・882期生・883期生・884期生・885期生・886期生・887期生・888期生・889期生・890期生・891期生・892期生・893期生・894期生・895期生・896期生・897期生・898期生・899期生・900期生・901期生・902期生・903期生・904期生・905期生・906期生・907期生・908期生・909期生・910期生・911期生・912期生・913期生・914期生・915期生・916期生・917期生・918期生・919期生・920期生・921期生・922期生・923期生・924期生・925期生・926期生・927期生・928期生・929期生・930期生・931期生・932期生・933期生・934期生・935期生・936期生・937期生・938期生・939期生・940期生・941期生・942期生・943期生・944期生・945期生・946期生・947期生・948期生・949期生・950期生・951期生・952期生・953期生・954期生・955期生・956期生・957期生・958期生・959期生・960期生・961期生・962期生・963期生・964期生・965期生・966期生・967期生・968期生・969期生・970期生・971期生・972期生・973期生・974期生・975期生・976期生・977期生・978期生・979期生・980期生・981期生・982期生・983期生・984期生・985期生・986期生・987期生・988期生・989期生・990期生・991期生・992期生・993期生・994期生・995期生・996期生・997期生・998期生・999期生・1000期生・1001期生・1002期生・1003期生・1004期生・1005期生・1006期生・1007期生・1008期生・1009期生・1010期生・1011期生・1012期生・1013期生・1014期生・1015期生・1016期生・1017期生・1018期生・1019期生・1020期生・1021期生・1022期生・1023期生・1024期生・1025期生・1026期生・1027期生・1028期生・1029期生・1030期生・1031期生・1032期生・1033期生・1034期生・1035期生・1036期生・1037期生・1038期生・1039期生・1040期生・1041期生・1042期生・1043期生・1044期生・1045期生・1046期生・1047期生・1048期生・1049期生・1050期生・1051期生・1052期生・1053期生・1054期生・1055期生・1056期生・1057期生・1058期生・1059期生・1060期生・1061期生・1062期生・1063期生・1064期生・1065期生・1066期生・1067期生・1068期生・1069期生・1070期生・1071期生・1072期生・1073期生・1074期生・1075期生・1076期生・1077期生・1078期生・1079期生・1080期生・1081期生・1082期生・1083期生・1084期生・1085期生・1086期生・1087期生・1088期生・1089期生・1090期生・1091期生・1092期生・1093期生・1094期生・1095期生・1096期生・1097期生・1098期生・1099期生・1100期生・1101期生・1102期生・1103期生・1104期生・1105期生・1106期生・1107期生・1108期生・1109期生・1110期生・1111期生・1112期生・1113期生・1114期生・1115期生・1116期生・1117期生・1118期生・1119期生・1120期生・1121期生・1122期生・1123期生・1124期生・1125期生・1126期生・1127期生・1128期生・1129期生・1130期生・1131期生・1132期生・1133期生・1134期生・1135期生・1136期生・1137期生・1138期生・1139期生・1140期生・1141期生・1142期生・1143期生・1144期生・1145期生・1146期生・1147期生・1148期生・1149期生・1150期生・1151期生・1152期生・1153期生・1154期生・1155期生・1156期生・1157期生・1158期生・1159期生・1160期生・1161期生・1162期生・1163期生・1164期生・1165期生・1166期生・1167期生・1168期生・1169期生・1170期生・1171期生・1172期生・1173期生・1174期生・1175期生・1176期生・1177期生・1178期生・1179期生・1180期生・1181期生・1182期生・1183期生・1184期生・1185期生・1186期生・1187期生・1188期生・1189期生・1190期生・1191期生・1192期生・1193期生・1194期生・1195期生・1196期生・1197期生・1198期生・1199期生・1200期生・1201期生・1202期生・1203期生・1204期生・1205期生・1206期生・1207期生・1208期生・1209期生・1210期生・1211期生・1212期生・1213期生・1214期生・1215期生・1216期生・1217期生・1218期生・1219期生・1220期生・1221期生・1222期生・1223期生・1224期生・1225期生・1226期生・1227期生・1228期生・1229期生・1230期生・1231期生・1232期生・1233期生・1234期生・1235期生・1236期生・1237期生・1238期生・1239期生・1240期生・1241期生・1242期生・1243期生・1244期生・1245期生・1246期生・1247期生・1248期生・1249期生・1250期生・1251期生・1252期生・1253期生・1254期生・1255期生・1256期生・1257期生・1258期生・1259期生・1260期生・1261期生・1262期生・1263期生・1264期生・1265期生・1266期生・1267期生・1268期生・1269期生・1270期生・1271期生・1272期生・1273期生・1274期生・1275期生・1276期生・1277期生・1278期生・1279期生・1280期生・1281期生・1282期生・1283期生・1284期生・1285期生・1286期生・1287期生・1288期生・1289期生・1290期生・1291期生・1292期生・1293期生・1294期生・1295期生・1296期生・1297期生・1298期生・1299期生・1300期生・1301期生・1302期生・1303期生・1304期生・1305期生・1306期生・1307期生・1308期生・1309期生・1310期生・1311期生・1312期生・1313期生・1314期生・1315期生・1316期生・1317期生・1318期生・1319期生・1320期生・1321期生・1322期生・1323期生・1324期生・1325期生・1326期生・1327期生・1328期生・1329期生・1330期生・1331期生・13</p>			

令和4年度 法人本部 年度計画	令和4年度 年度計画 (高専名：一関工業高等専門学校)	進捗 ※新型コロナウイルスに関係するものは赤字	達成状況	課題 ※新型コロナウイルスに関係するものは赤字
<p>8-3 情報セキュリティについて「政府関係の情報セキュリティ対策のための統一標準」に基づき制定する法人の情報セキュリティポリシー対策推進等に関し、国立高等専門学校の17校を対象とした情報セキュリティ推進の進捗・向上を図る。また、法人本部を対象とした内部サイバーセキュリティセンター(CSS)の構築等に関する調査・検討、必要対策を講じる。併せて、法人の情報セキュリティポリシー対策推進等へ還元し、PDCAサイクルの構築及び定着を図る。</p> <p>全教職員の情報セキュリティの意識向上を図るために情報セキュリティ教育(e-learning)及びインシデント対応訓練等を実施する。また、各国立高等専門学校の情報出等に対処した情報セキュリティに関する研修、管理職を対象とした情報セキュリティチェックセミナーを実施すると、職員等に対して必要な情報セキュリティ教育を計画的に実施する。</p> <p>高度化する情報セキュリティリスクに対応するために、最高情報セキュリティ責任者(CISO)及び各国立高等専門学校の有識者からなる情報戦略推進本部情報セキュリティ専門委員会を構築し、メール送付機能の導入推進をはじめとした、今後の情報セキュリティ対策等について検討を進める。</p> <p>国立高等専門学校機構CSIRT(高専機構CSIRT)が中心となり、各国立高等専門学校にインシデント対応及びインシデント対応の連携共有を行うとともに、初期対応徹底のためにすぐやむを得ない場合は継続して行う。情報セキュリティインシデント発生及び被害発生を最小限の被害を発生させる。</p>	<p>1) 情報セキュリティ推進部を中心として、本校における情報セキュリティに関して、情報セキュリティ推進規則に基づき具体的な対策を実施し、学内の情報セキュリティの維持・向上を図る。</p> <p>2) 全教職員を対象とした情報セキュリティ講習会を開催するとともに、各種情報提供を行い情報セキュリティに関する啓蒙を図る。</p>	<p>1) 情報セキュリティ推進部を中心として、情報セキュリティに係る高専機構等からの連絡(注意喚起)を内に周知し啓蒙するとともに、教職員等においても学内情報セキュリティの維持・向上に係る取り組みを継続的に行った。</p> <p>2) 4月に全教職員を対象とした情報セキュリティ講習会を実施した。また、高専機構による教職員向け情報セキュリティ研修や情報セキュリティインシデント対応訓練を実施した。</p>	◎: 既に達成している	
<p>8-4 内部統制の充実・強化 ①-1 理事長の「リーダーシップ」のもと、機構としての迅速かつ責任ある意思決定を実現するため、必要に応じ機動的に、WEB会議システムを活用した役員会の開催を行う。</p>	<p>1) 迅速かつ責任ある意思決定を実現するため、必要に応じ機動的に、WEB会議システムを活用した役員会の開催に参加する。</p>	<p>1) 迅速かつ責任ある意思決定を実現するため、必要に応じ機動的に、WEB会議システムを活用した役員会の開催に参加した。</p>	◎: 既に達成している	
<p>①-2 役員総会や校長・事務部長会議その他の主要な会議や各種研修等を通じ、法人としての課題や方針の共有を図る。</p>	<p>1) 校長・事務部長会議その他の主要な会議や各種研修等を通じ、法人としての課題や方針の共有化に努める。</p>	<p>1) 校長・事務部長会議その他の主要な会議や各種研修等を通じ、法人としての課題や方針の共有化に努めた。</p>	◎: 既に達成している	
<p>①-3 学校運営及び教育活動の自主性・自律性や各国立高等専門学校の特色を尊重するため、各種会議や、理事長と各国立高等専門学校校長との協議を通じ、各国立高等専門学校の意見を聞く。</p>	<p>1) 各種協議を通じ、必要に応じて学校運営方針や特長について意見を述べる。</p>	<p>1) 10月25日開催の理事長とアソシアックにおいて、校長より学校運営方針や特長等についての説明を行った。また、9月14日開催の機構本部事務部長及び人事部長との人事に関する懇談会においては、事務部長より学校の課題等についての説明を行った。</p>	◎: 既に達成している	
<p>②-1 法人全体の共通課題に関する機構のマネジメント機能を強化するため、理事長と各国立高等専門学校校長との協議等を実施する。</p>	<p>1) 理事長と校長との協議等を通して、法人全体の共通課題について認識を共有する。</p>	<p>1) 10月25日開催の理事長とアソシアックにおいて、理事長と校長との協議等を通して、法人全体の共通課題について認識を共有している。</p>	◎: 既に達成している	
<p>②-2 法人本部が作成した、コンプライアンスマニュアル及びコンプライアンスに関するセルフチェックリストの活用や、各国立高等専門学校の教職員を対象とした階層別研修等により教職員のコンプライアンスの向上を図る。</p>	<p>1) 研究使用不正防止、研究倫理等のコンプライアンス教育研修及びセルフチェックリストを実施し、コンプライアンス意識の向上に努める。</p>	<p>1) 2022年度分研究員の不正使用に関する研修会を9月14日～30日に開催及びセルフチェックを実施し、コンプライアンス意識の向上に努めた。</p>	◎: 既に達成している	
<p>②-3 事業に応じ、法人本部と国立高等専門学校が十分な連携を図り、速やかな情報の伝達・対策などを行う。</p>	<p>1) 法人本部と十分な連携を図り、速やかな情報の伝達・対策などを行う。</p>	<p>1) 法人本部と十分な連携を図り、速やかな情報の伝達・対策などを行った。</p>	◎: 既に達成している	
<p>③ これらを有効に機能させるために、内部監査及び各国立高等専門学校の相互監査については、時宜を踏まえ内部監査の整理を行い、発見した課題については情報を共有し、速やかに対応を行う。また、内部監査等の結果を監事へ報告するとともに、監事へ支援する職員が配置などにより効果的に監査が実施できる体制とするなどによる監査機能を強化する。なお、監事監査結果については随時報告を行う。</p>	<p>1) 監事法人任責や高専相互監査の指摘事項などを参考に、時宜を踏まえ内部監査項目に基づき内部監査を実施し、発見した課題については情報を共有し、速やかに対応を行う。</p>	<p>1) 監事法人任責や高専相互監査の指摘事項などを参考に、時宜を踏まえ内部監査項目に基づき内部監査を実施し、発見した課題については情報を共有し、速やかに対応を行った。</p>	◎: 既に達成している	
<p>④ 平成23年度に策定した公的研究員等に関する不正使用の再発防止策の確実な実施を各国立高等専門学校に徹底させるとともに、必要に応じ本再発防止策を推進し、加えて、各国立高等専門学校の研究担当責任者等を対象としたWeb会議の開催や各国立高等専門学校において研究員の適切な取扱いに関する法務相談等を行う。</p>	<p>1) 本校独自の公的研究員使用マニュアルを教職員に配付し、定期的に説明等を行い、教職員の意識の向上を図る。 2) 機構が有する公的研究員等に関する不正使用の再発防止策の取組を徹底して行う。</p>	<p>1) 本校独自の公的研究員使用マニュアルを教職員に配付したうえで内容の精査を行わせ、監事等との連携を図った。 2) 機構が有する公的研究員等に関する不正使用の再発防止策の取組を徹底して行った。</p>	◎: 既に達成している	
<p>⑤ 各国立高等専門学校において、機構の中期計画及び年度計画を踏まえ、個別の年度計画を定める。また、その際には、各国立高等専門学校及び各学科の特性に応じた具体的な成果目標を設定する。</p>	<p>1) 本校独自の年度計画を定める。</p>	<p>1) 本校独自の年度計画を定めた。</p>	◎: 既に達成している	